

第130号

令和2年6月号

# 社協だより



社会福祉法人 笠岡市社会福祉協議会

〒714-0098 笠岡市十一番町15(電話)62-3507(FAX)62-3590



## ふくしについて学んだよ



新しい発見



いつもの道が違って感じるね



興味津々



もっと手話ができるようになりたいな



うまく歩けないよ～



自分の名前が点字でうてたよ!

社会福祉協議会では福祉学習の実施をしています。昨年度は小学校9校・中学校4校から依頼をいただき、疑似体験や当事者による講話を行いました。「目が見えなくてもできることがたくさんあってびっくりした」「難しいこともあったけど友達が手伝ってくれたから頑張れた」「子どもたちは積極的に体験し、福祉について考えました。」この体験を機に困った人や友達に手を差し伸べることのできる人になってほしいと願っています。

福祉学習や体験などご要望に応じて出張します。

(問合せ)

社協 ☎ 62-3507

令和2年度  
助成金募集します



赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業

「見守り」「助け合い」「孤立を防ぐ」地域福祉活動に積極的に取り組む団体の活動費を助成

(対象)

笠岡市内に所在するNPO・ボランティア・福祉活動団体など

(助成金額) 1団体5万円まで

歳末たすけあい

地域福祉団体助成金

地域福祉活動を行う団体の活動資金を助成

(対象)

笠岡市内に所在するNPO・ボランティア・福祉活動団体・社会福祉法人など

(助成金額) 1団体10万円まで

(応募締切)

令和2年6月30日(火)

社協必着

(審査) 令和2年8月上旬

(応募用紙)

社協ホームページからダウンロード可

(問合せ)

社協 ☎ 62-3507

この広報紙は、共同募金の配分金の一部で作られています。

ホームページアドレス <http://kasaoka.or.jp/>

最新情報や福祉用具リサイクル情報の詳細はホームページをご覧ください。

# 社協支部活動紹介

## 社協吉田支部

### 手作り弁当がつなぐ地域の見守り

社協吉田支部の給食サービスは、小学校、栄養委員、愛育委員、民生委員のみなさんとの連携によって、1995年から現在まで続く伝統的な活動となっています。年4回、5月「ばら寿司」9月「山菜おこわ」12月「おせち」3月「ぼたもち」です。

毎年、小学校高学年の子どもたちが地域の協力のもと育てたお米をいただき、栄養委員、愛育委員、民生委員とで弁当を作っています。弁当には、小学生が色塗り、手書きの言葉を添えた包装紙が巻かれており、出来上がったお弁当は小学生と民生委員とで各家庭へ届けます。手渡しで声を掛けることで生まれる自然な会話から、見守り、ふれあいが出来る場となっています。また、この活動は、山陽新聞桃太郎賞を受賞したことがあります。



お弁当を楽しみに待っていてくださる方も多く、大変喜ばれております。時にこんなお礼の言葉をいただくこともあります。



#### お礼の手紙

今日は大好きな「ぼたもち」喜んでいただきます。ありがとうございました。細やかな手作業、大変だったでしょう。人生のいろいろなところに旬がある。いつだって美味しい給食弁当

このように、吉田地区諸団体との共同による活動をとおして、「見守り、助け合い、ささえあう」活動を継続しております。

新たな福祉活動の課題も見つかることがあります。こうした課題に、地域の皆さんと協力して、福祉活動を進めています。

## 社協神島外支部

### 社会福祉協議会&小学生との「にっこに交流会」

毎年小学校体育館で「にっこに交流会」が行われます。地域の高齢者のみなさんとのふれあいを通して、相手を思いやる心優しい子ども、元気いっぱいの子どもを育てようと20年以上続いています。お手玉やあやとりを教えていたり、自分が作った福笑いや双六をいっしょに楽しんだりしながらにぎやかな時間を過ごしました。中には一人のおじいちゃんから離れない子もいました。司会・進行あいさつも児童会のみなさんが立派に務めました。

当日は子どもたちが考えた色々な遊びや出し物で、会場に笑顔の花がいっぱい咲きました。「かわいいなあ〜」いつまでもお元気で」の気持ちが通う温かい交流会です。



3. カルタとり



2. 一緒に手遊び歌



1. 手を添えてご案内



6. ダンス「エビカニクス」



5. 福笑い



4. あやとり

## ありがとうございました

令和2年2月1日～令和2年4月31日(敬称略)

※掲載についてご了承いただいた方のみ、

お名前を記載させていただいております。

### 満中陰志

|               |              |
|---------------|--------------|
| 亡母 中務稔夫(富岡)   | 亡母 高岡千春(甲賀)  |
| 亡夫 小林恵美子(三番町) | 亡夫 橋本和美(笠岡)  |
| 亡母 笠原誠一(走出)   | 亡妻 塩飽孝昌(大河)  |
| 亡伯母 三宅和彦(笠岡)  | 亡父 櫛田靖夫(西大島) |
| 亡父 定平仁樹(山口)   | 亡父 小寺隆志(笠岡)  |
| 亡夫 榊原勝子(金浦)   | 亡母 山本忠昭(美の浜) |
| 亡母 酒井香隆(山口)   | 亡父 伊木裕子(富岡)  |
| 亡父 池田靖和(新横島)  |              |

### 一般寄付

若竹ひまわりクラブ



## 令和2年度 社会福祉協議会会費のお願い

社会福祉協議会では地域の皆様方と協働で地域の福祉活動の充実を図り「みんなでささえて誰もが安心して暮らせるまちづくり」を掲げています。

社会福祉協議会会費は、各地区の支部社協に交付金として還元される他、各種福祉事業に使われます。ご協力よろしく願います。

|              |          |
|--------------|----------|
| ○普通会費 一世帯あたり | 年 5,000円 |
| ○賛助会費 一人あたり  | 年 1,000円 |
| ○特別会費 一口あたり  | 年 5,000円 |

## Let's ボランティア

【問合せ】  
社協  
62-3507

### 笠岡点字サークル

4月に行われた市長市議選に向けて投票用紙に貼る点字シール、候補者名簿の作成をさせて頂きました。シールは手打ちでボツと名簿は点字プリンターで作成させて頂きました。また、赤い羽根助成金で視覚障がい者向けの機器体験会を行いました。最新のA-搭載の機器や拡大読書器にふれ、日ごろ使用しておられる視覚障害の方から普段iPhoneをどのような使い方をしているのかなど聞きながら実際に操作体験をしてみました。また、パソコンを購入させて頂きました。ありがとうございました。



### 笠岡手引きの会

2月9日(日)市民会館において、生涯学習フェスティバルが開催されました。笠岡手引きの会では、例年通り「アイマスク体験コーナー」(視覚障がい体験)を企画し、小学生から80歳代までの150名が来場されました。こうした中で、アイマスク体験に「ぜひ参加してみたい」と初めて参加された方が多くおられ、特に小学生からは「点字ブロックが大切だと思った」「目で見ているので、見えないことの違いにびっくりした」など多数の感想を頂きました。改めて障がい者への理解を促進していきたいと思えます。なお、活動に関心のある方はぜひとも手引きの会への加入をよろしく願います。

## 夏のボランティア 体験は中止します

今年度の夏のボランティア体験は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止します。

笠岡市社会福祉協議会では夏休み期間以外でもボランティア活動先の紹介・相談を受け付けています。

興味・関心のある方は、お気軽に笠岡市社会福祉協議会までご相談ください。

### 日中一時支援事業所 わかば園

穏やかな春の日差しの中、新年度がスタートしました。

みんなで笑ったり泣いたり喧嘩したり…

色々な経験を重ねてみんなで成長しながら今年度も楽しみたいと思います。



# 感染症を予防しよう! ~うつらないように、うつさないために~

コロナウイルス・食中毒などの感染症には、基本的な感染予防対策が有効です。

## 1) 手洗い(消毒)・うがいをしましょう

帰宅時や調理の前後、食事などこまめに手を洗いましょう!

### 正しい手の洗い方

爪は短くしましょう

- 
- ①流水でよく手をぬらした後、せっけんをつけ、手のひらをよくこする
  - ②手の甲をのばすようにこする
  - ③指先・爪の間に念入りにこする
  - ④指の間を洗う
  - ⑤親指と手のひらをねじり洗う
  - ⑥手首も忘れず洗う
  - ⑦流水でよくすすぐ
  - ⑧タオルでよく拭く

うがい

消毒

こまめな水分補給で乾燥を防ぎ、粘膜についたウイルスを洗い流しましょう!

## 2) 咳エチケットを守りましょう



マスクを着用  
(口や鼻を覆う)



ティッシュ・ハンカチ  
で口や鼻を覆う



袖で口や  
鼻を覆う

## 3) 人ごみは避けるようにしましょう



感染予防で一番効果的なのは人との接触を避けることです。持病のある方、ご高齢の方はできるだけ人ごみは避けるよう心掛けましょう。

## 4) 普段の健康管理



しっかり食事・睡眠をとる



体力(抵抗力)を保ちましょう!

## 5) 換気・環境消毒



部屋のウイルス量を下げ、部屋の十分な換気を行う



よく触れるところを漂白剤やアルコールを含んだティッシュで拭く  
※漂白剤は水(ペットボトル500ml)に5cc(キャップ1杯)で薄める

## 新型コロナを悪用 不審電話に注意!!

新型コロナ感染拡大で自宅にいることが多くなった高齢者を狙った不審電話が増えています。保健所などの職員をかたり、「各世帯にマスクを配布しているので、家族の人数を教えてください」などと個人情報を聞き出そうとしています。電話に出ても個人情報は答えず、家族や警察に相談して下さい。



## 『咳エチケット用マスク』つくってます!

笠岡・里庄の就労支援施設の有志が集まり、4月から「咳エチケット用の布マスク」を作成、販売を開始しました。マスクがほしいのに入手できなくて困っている人のお役にたきたいとみんなで頑張っています!

(問合せ) 笠里マスクプロジェクト

☎0865-61-4351 ☒info@ammer.jp



募集中

マスクを作っている方・団体を募集しています。社協で広報をさせていただきますのでご一報ください!  
(問合せ) 社協62-3507

# 地域包括支援センター

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない不安な状況が続いています。いきいき百歳体操も自粛している会場がほとんどです。運動や外出の機会が減ると心配になってくるのが「動かないこと」による健康への影響です。筋肉が落ち、歩きにくくなったり疲れやすくなったりするのも、もちろんですが、認知面や社会面、口腔（くち）にも現れます。

歯や歯ぐきの調子が悪くてかめないと…



かめない

肉や野菜は食べにくくやわらかい食べ物を選ぶがちになります。



やわらかい食事

そうすると、エネルギー！たんぱく質・ビタミンなどが不足してしまい…体重減少や体調不良につながります。



低栄養

栄養の偏り

今回は「食べる力を保つため」の体操を紹介します。

## 口の体操をしましょう



① 口を「あー」としっかり開け、「んー」としっかり閉じる。



② 唇を「いー」と横に引き、次に「うー」ととがらせる。



③ 頬をしっかり膨らませた後、頬をへこませる。



④ 口を開けて舌を出し、鼻やあごをなめるように上下に動かす。



⑤ 舌をできるだけ前に出して左右に動かす。



⑥ 口を開けて舌をおもいきり出したりひっこめたりする。



⑦ 口のまわりをなめるように舌を左右かわるがわるにまわす。

出典：「健口体操」改変 岡山県・（一社）岡山県歯科衛生士会

問合せ…  
笠岡市地域包括支援センター  
☎（0865）62-6662



天神荘 職員



大井小学校 4年生



ザ・ビッグ 笠岡店

## 〈認知症サポーター養成講座⑧〉

認知症普及啓発のため「認知症サポーター養成講座」を行っています。

令和2年2月には市内3ヶ所で開催しました。

事業報告…主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士を配置し、相談支援・予防ケアマネによる予防プランの作成などをおこなっています。

### ■高齢者の実態把握と総合相談事業件数

実態把握数（459件）※実態把握とは、高齢者宅を訪問し生活不安等をお伺いして早期支援に結び付ける訪問活動です。

■包括的継続的マネジメント  
個別ケア会議（5回）ケアマネ個別相談（1、179件）プランチェック（535件）

総合相談件数（4、952件）  
【相談内訳】  
①介護保険（2、648件）②福祉（476件）③介護予防（11件）④認知症（416件）⑤健康医療（777件）⑥虐待権利擁護（139件）⑦高齢者以外の相談（40件）⑧その他（445件）

■権利擁護に関する連携支援  
虐待通報件数（27件）虐待防止支援チームの開催（4回）

■認知症関連  
認知症サポーター養成講座（11回 272人）ネットワーク体験（3地区 97人）

# 計画を策定しました

## 暮らせる福祉のまちづくり

令和2年度  
から6年度

昨年度地域のみなさと一緒に作り上げた第4次地域福祉活動計画が開始しました。

地域福祉活動計画とは、市内の住民代表の方、福祉関係団体、NPO、ボランティア、福祉サービス事業者等が協力し、共に笠岡市にある地域福祉の課題解決をめざして策定する『民間の活動計画』です。策定にあたっては市内20箇所で行った住民座談会を開催し、住民アンケートとあわせて地域課題の把握を行いました。

これからの5年間の笠岡の地域福祉活動をみなと共に行動・実践していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

### 基本目標②

## お互いを思いやり 助け合っていく心を育てます

福祉教育  
理解  
心を育む



ささえ合い、誰もが安心して生活をするためには、お互いを『思いやり』そして『助け合うことができる心』を育む必要があります。

そのためには幼少期から、生活に困難をかかえがちな高齢者・障がい者等の現状を知ることがまず必要です。高齢者や障がい者等についての正しい知識を身に付けることで、差別につながらることなく、初めてお互いを認め合い、助け合う心を育てていきましょう。



- 幼少期から日頃のあいさつや交流を通し、おもいやりの心を育みましょう
- 誰もが気軽に声をかけやすい関係を作りましょう



### 基本目標④

## 地域で見守り・助け合いをすすめます

助け合い  
ささえあい  
活動に  
取り組む

地域（隣近所）の問題をすぐ把握できるのは、その地域に住んでいる住民の方です。そのためには『地域の情報を共有し、生活の困りごとの把握』『地域で出来る見守り活動の推進』が重要となります。

また緊急時などの『災害』に備えた助け合いも必要となります。少子高齢化、一人暮らし、高齢者のみ世帯の増加などにより、自分たちだけでは解決出来ない問題を地域一丸となってささえたいける『地域での見守り・助け合い活動』を進めましょう。

- 地域の情報を共有し、解決策について話し合う場を作りましょう
- SOSを発信できない人への声かけや関係づくりをしましょう
- 災害に備えて避難先などを家族やご近所の方と話し合いましょう
- 活動の財源を確保するための企画をしましょう





# 第4次地域福祉活動

## みんなでささえて誰もが安心して

### 基本目標

- ①人と人とのつながりをつくり、誰もが参加できる機会を増やしていきます
- ②お互いを思いやり、助け合っていく心を育てます
- ③必要な人にわかりやすく情報を伝えます
- ④地域で見守り・助け合いをすすめます

### つながり 人づくり

#### 基本目標①

## 人と人とのつながりをつくり、 誰もが参加できる機会を増やしていきます

『誰もが安心して住みなれた地域で生活する』ためには、まず人と人とのつながり作りがとても重要と考えられます。『近隣で世代を越えた日常的なつながり』『支援を必要としている人と地域のつながり』をつくっていくことで、困ったときにその情報を伝えることができる関係を目指します。

また、地域のどの活動でも継続する上でも『後継者』が必要となります。『多世代の参加』『幅広い参加の場』から後継者の育成を図っていきましょう。さらに地元の施設と地域が協力する活動、地域の行事に施設が参加できるような事業の企画をとoshi、様々な人が交流、参加できる環境づくりをおこないましょう。



- 年代を問わず参加できる交流の場を作りましょう。
- 地域で高齢者や障がい者と顔の見える関係を作りましょう。
- 施設と住民のつながりをつくり、一体となって活動しましょう。
- 次世代の担い手づくりを行いましょう。



### 広報啓発 仕組み づくり

#### 基本目標③

## 必要な人にわかりやすく情報を伝えます

支援を必要とする人が『知らない』ということで、制度やサービスが使えないということがあってはなりません。

必要な情報をいち早く得られる環境を作っていくためには、窓口の明確化や、地域の各種団体からの広報及び情報提供ができる仕組みが必要です。複数のメディアを活用し、必要な人に情報が伝わるようにしましょう。



- 困った時に相談できる窓口や制度サービスを伝えていきましょう。
- 複数のメディアを活用し幅広い世代を意識した発信をしましょう。



## 特別講座受講生募集

## ◆エコラフトのカゴバック

日時：6月30日(火)

9時30分～15時

参加費：800円

定員：15人

持参物：筆記用具、木工用接着剤

はさみ、30cmものさし、

昼食、洗濯ばさみ

(10～20個)

申込締切：6月23日(火)

※申込み問合せ先  
サンライフ笠岡 ☎63-15333敷地内全面禁煙の  
お知らせ

令和2年4月より、保健センターとサンライフ笠岡は、敷地内が全面禁煙となりました。喫煙所は老人福祉センターの1カ所のみとなっております。利用者の皆様には、ご不便をおかけしますが、ご協力の方よろしくお願いいたします。

訪問介護員  
(パート)募集

勤務地：笠岡諸島

勤務時間：※応相談

8時30分～17時15分

(但し船便による)

勤務日数：週1日以上

資格：介護福祉士又は

介護職員初任者研修

普通運転免許

(スクーターに乗れる方)

時給：介護福祉士1,100円

介護職員初任者研修

1,000円

選考：書類審査及び面接

問合せ：かさおか社協

ヘルパーテーション

☎63-3781

『えんぴつバンク』  
はじめました！

社協では、支援を必要とする子どもたちへの取組みとして、文房具の橋渡しをはじめました。未使用の鉛筆(2B・3B・4B中心)消しゴムがあれば社会福祉協議会までお持ちください。



## ふれあいほのぼの相談

民生委員、ソーシャルワーカーなどによる介護相談、生活相談などの般相談をおこなっています。「話す」という少しの勇気で変わることもあります。お気軽にごつぞ。

① 民生委員による相談受付

毎週木曜日10時～15時

② 社協職員による一般相談

平日8時30分～17時15分

## 無料法律相談

弁護士による無料法律相談

先着順での受付です。予約はお早めに。同じ方からの相談は、1年に1回となります。

毎月第3金曜日14時～

要予約 ☎62-13507

※1人30分以内



## 食品を譲って下さい！

社協では、食品ロスへの取組みとして、フードバンク・フードドライブ活動をおこなっています。食品を廃棄するのではなく、食べ物を必要としている方やサポートしている団体に、無償で提供する他、各地区で開催していることも食堂にも提供させていただいています。もしご家庭で消費出来ない食材や食品等がございましたら、社会福祉協議会までお持ちください。

(ご提供いただきたい主なもの)

穀類(米・麺)・保存食品(缶詰・瓶詰等)

インスタント・レトルト食品・飲料類

※未開封で賞味期限が明記され1か月以上残っているもの。

※生ものは受け取れません。



## 『介護者の会』会員募集中

笠岡市介護者の会は、在宅で介護されている介護者が交流しお互いの悩みを話し合うことで心身のリフレッシュを図ることを目的に活動しています。私たちと一緒に『ホッと心安らぐ時間』を過ごしませんか。男性介護者の入会も大歓迎です！

■年会費：1,000円

■活動日：毎月第2水曜日

13時30分～

■場所：笠岡市老人福祉センター会議室

問合せ先：社協 ☎62-3507



グランドゴルフ



日帰り旅行

新型コロナウイルスによる  
休業や失業で 生活資金にお困りの方へ

笠岡社協では新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等による生活資金でお困りの方々に向けた緊急小口資金等の特例貸付の相談を受け付けています。

【緊急小口資金】※審査あり・給付ではありません。

■対象者：新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ時的な

生計維持のための貸付を必要とする世帯

■貸付上限額：20万円以内

■措置期間：1年以内

■償還期間：2年以内

※申込の受付には身分証、住民票、印かんが必要です。

■問合せ先：社協 ☎62-3507

※詳しくはホームページをご確認下さい。